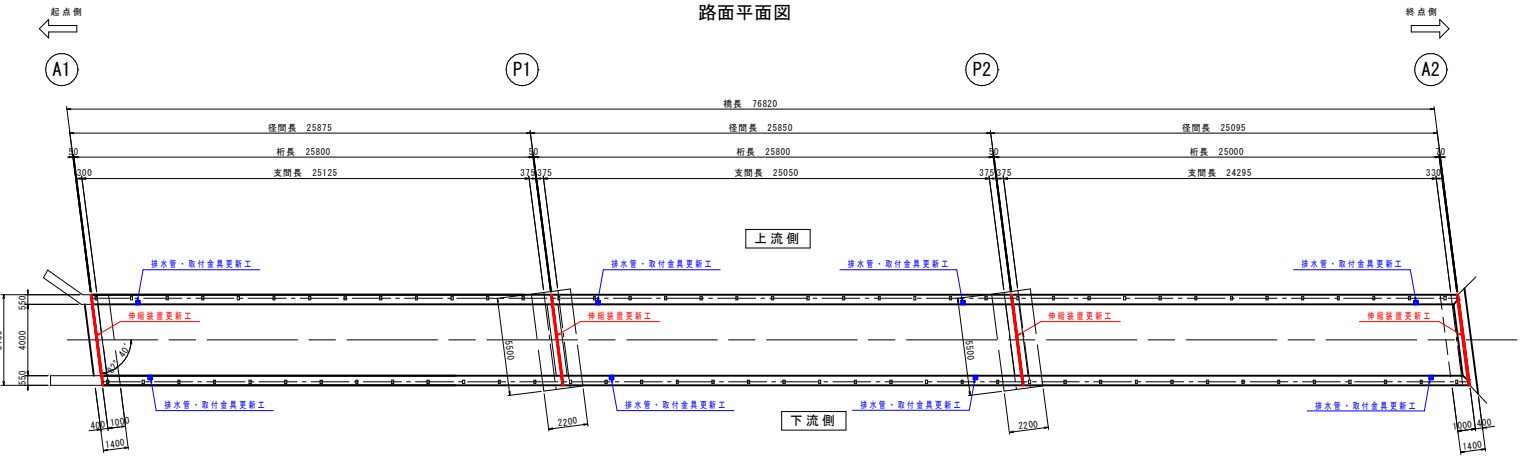
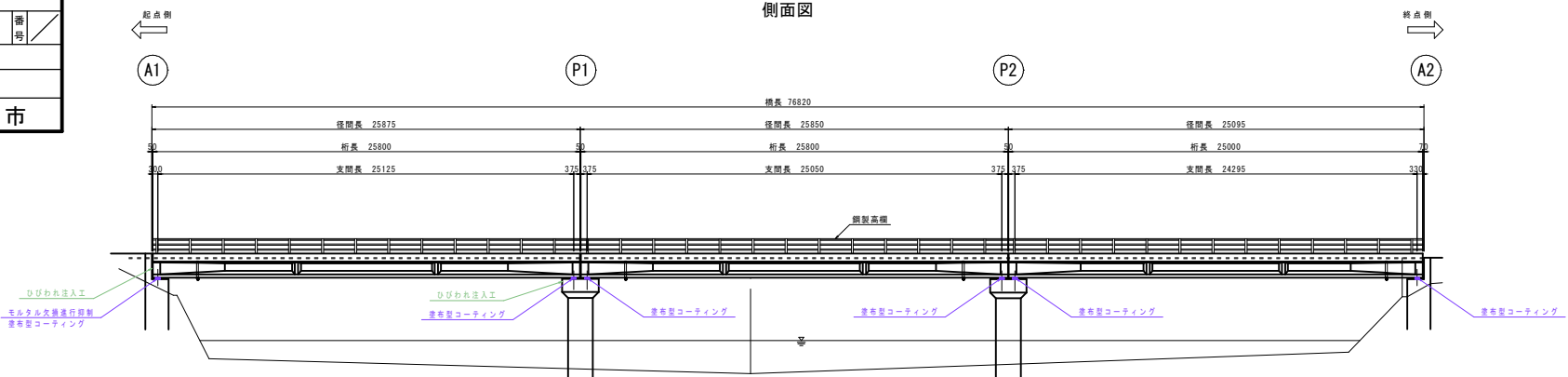


図面番号	1 / 1	縮尺	図示
工種			
種別	馬掘橋 補修一般図	番号	/
路線 河川名			
工事箇所			
三 次 市			

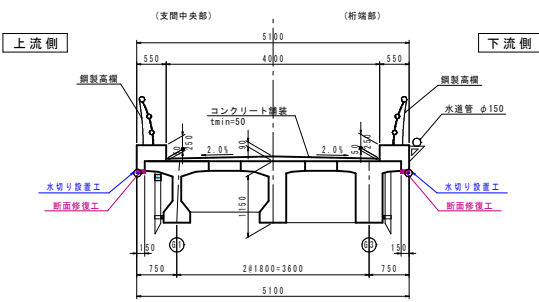
馬摺橋 補修一般図

S=1/150



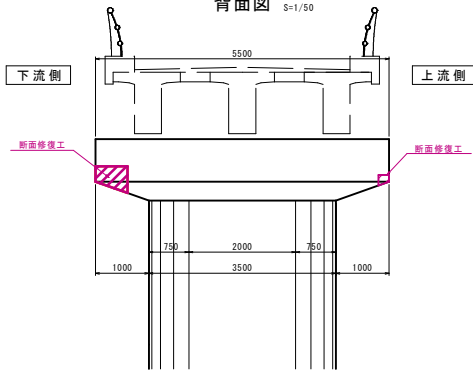
上部工断面図

S=1/50



P2橋脚

背面図 S=1/50

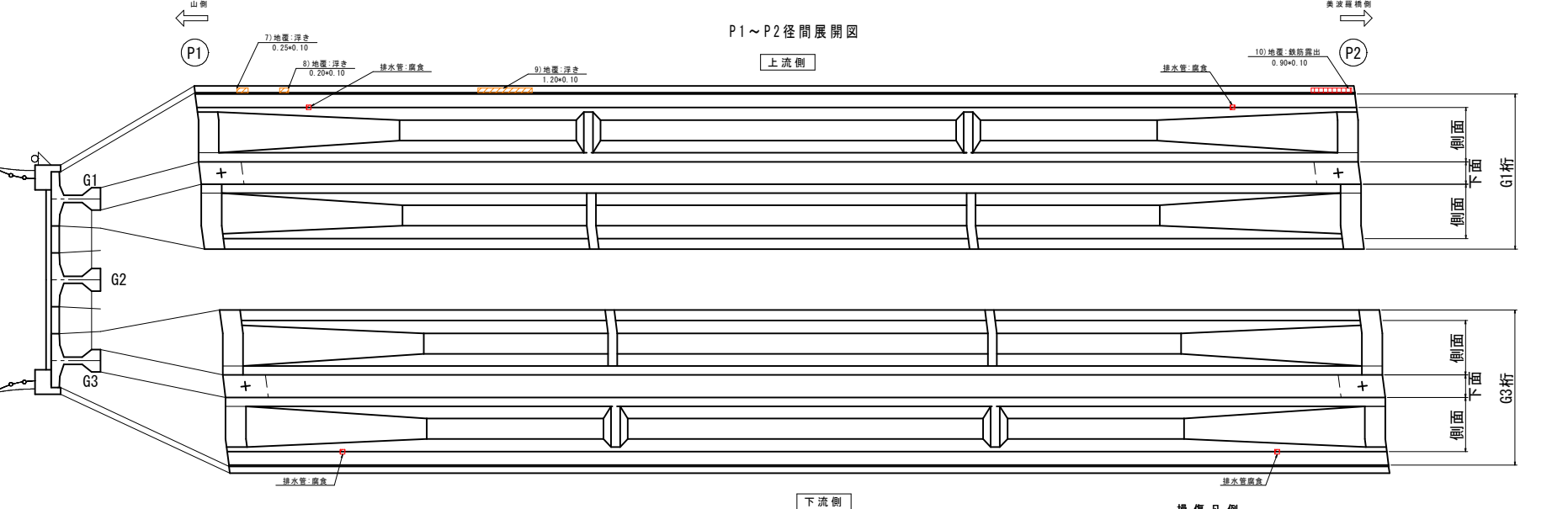
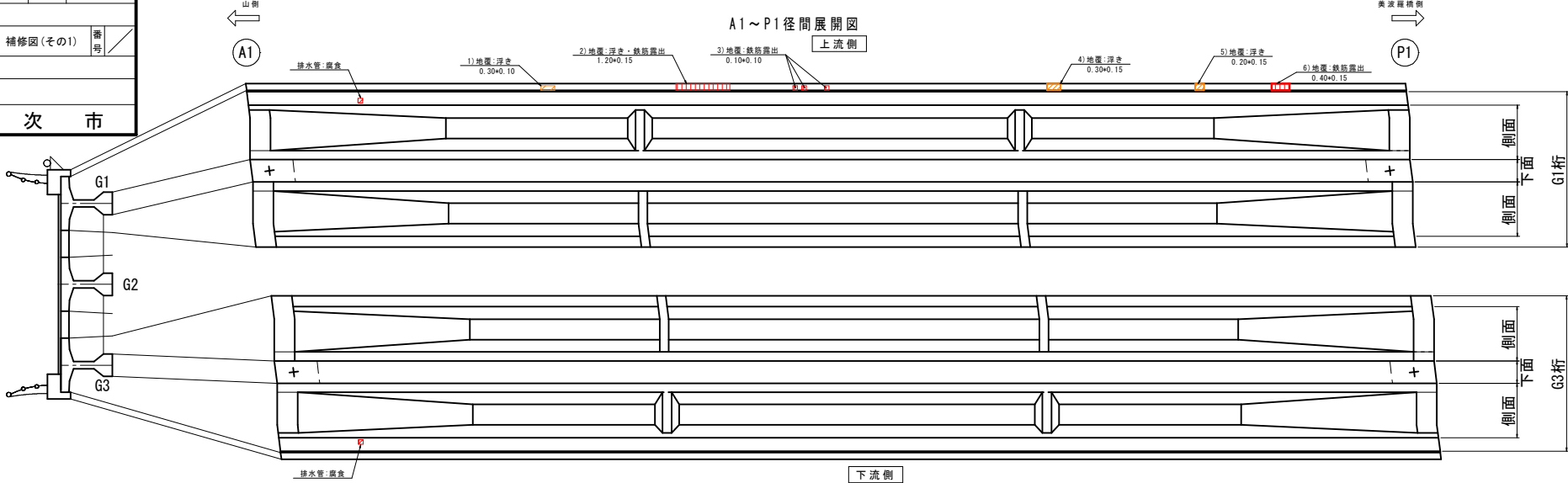


補修項目一覧表

部材工		補修項目	補修部位	損傷(方針)	補 要
下部工	橋 台	ひびわれ注入工	A1バレット・P1橋座	初期ひびわれ(進展抑制対策)	注入用ポリマーセメント
	橋 脚	断面修復工	P2梁下面	うき・欠損(損傷修復対策)	ポリマーセメントモルタル
支保工	塗布型コーティング		ゴム支承	オゾン劣化(劣化進行遅延対策)	表面コーティング対策(防コート相違)
	モルタル欠損		A1橋台支承モルタル	うき・欠損(進展抑制対策)	ポリマーセメントモルタル 注入用ポリマーセメント
伸縮装置工	伸縮装置更新工		伸縮ゴム目地部	経年劣化(止水性能回復)	突合せジョイントゴム部再充填(SW工法相違)
排水工	排水管・取付金具更新工		排水管・取付金具	腐食(取り換え更新対策)	鋼管切断端ビ管継手接続・金具取換え
地盤工	断面修復工				ポリマーセメントモルタル
	水切り設置工		地盤下面	かぶり不足(鉄筋腐食抑制対策)	後付け水切材設置(特殊ゴム系材料)

図面番号	1 / 5	縮尺	図示
工種	馬摺橋 補修図(その1)		
種別	馬摺橋 補修図(その1)	番号	
路線名			
河川			
工事箇所	三 次 市		

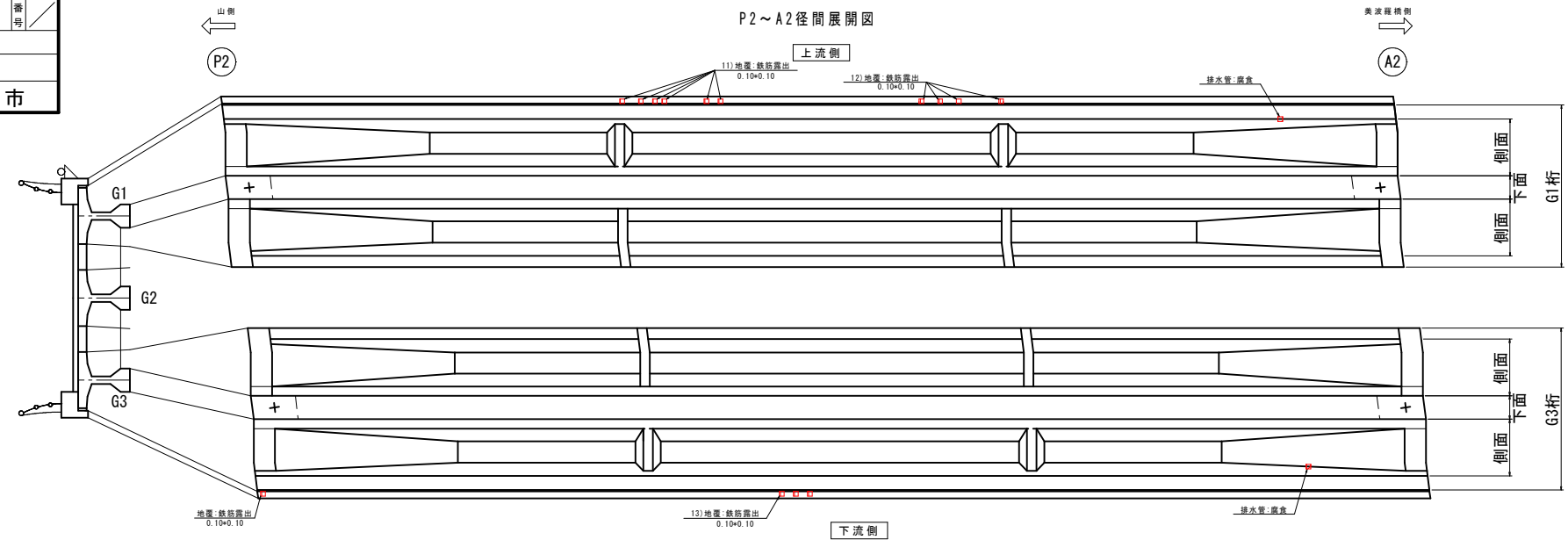
馬摺橋 補修図(その1) S=1:50



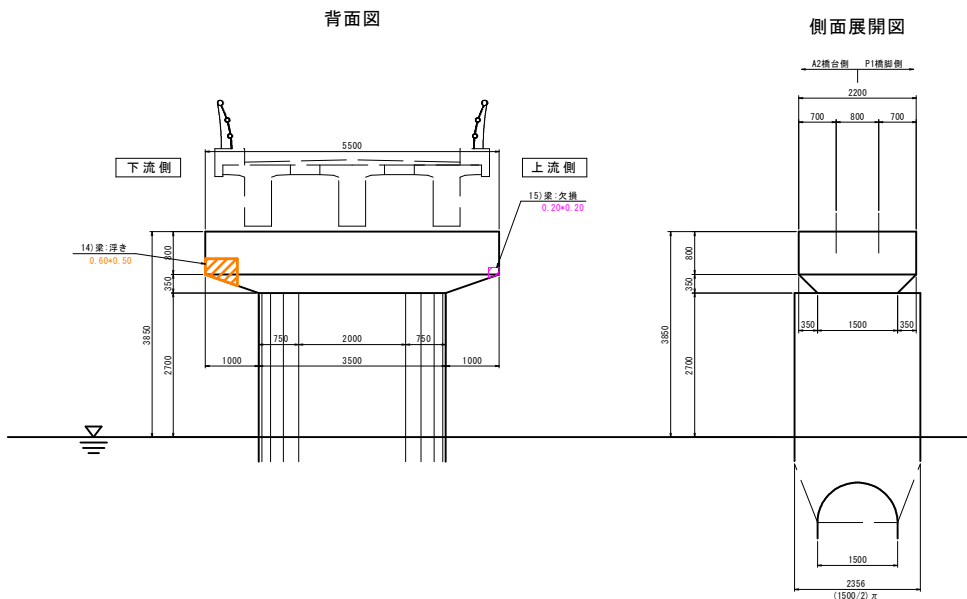
損傷凡例			
ひびわれ(0.2mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	0.1	漏水・滲水	
ひびわれ(0.2~1.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	0.2	浮き・剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	
ひびわれ(1.0~2.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	1.0	剥離・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	
ひびわれ(2.0~5.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	2.0	変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	
ひびわれ(5.0mm以上) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	5.0	変色・劣化 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	
ひびわれ(遊離石灰) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。		腐食 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	
遊離石灰 図中の数値は幅×長さ(m)を示す。	0.10×0.10	防食機能の劣化 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	
錆汁滲じり遊離石灰 図中の数値は幅×長さ(m)を示す。	0.10×0.10	豆 粒 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	

図面番号	2 / 5	縮尺	図示
工 種			
種 別	馬摺橋 補修図(その2)	番号	/
路線 河川 名			
工事箇所			
三 次 市			

馬摺橋 補修図(その2) S=1:50



P2橋脚



損 傷 凡 例			
ひびわれ(0.2mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	0.1	漏水・漏水	
ひびわれ(0.2～1.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	0.2	浮き・剥離	
ひびわれ(1.0～2.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	1.0	剥離・鉄筋露出	
ひびわれ(2.0～5.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	2.0	変形・欠損	
ひびわれ(5.0mm以上) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	5.0	変色・劣化	
ひびわれ(遊離石灰) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。		腐食	
遊離石灰 図中の数値は幅×長さ(mm)を示す。	0.10×0.10	防食機能の劣化	
錆汁漏じり遊離石灰 図中の数値は幅×長さ(mm)を示す。	0.10×0.10	豆 粒	

図面番号	3 / 5	縮尺	図示
工種			
種別	馬摺橋 補修図(その3)	番号	/
路線 河川名			
工事箇所			
三 次 市			

馬摺橋 補修図(その3) S=1:50

A1橋台

P1橋脚

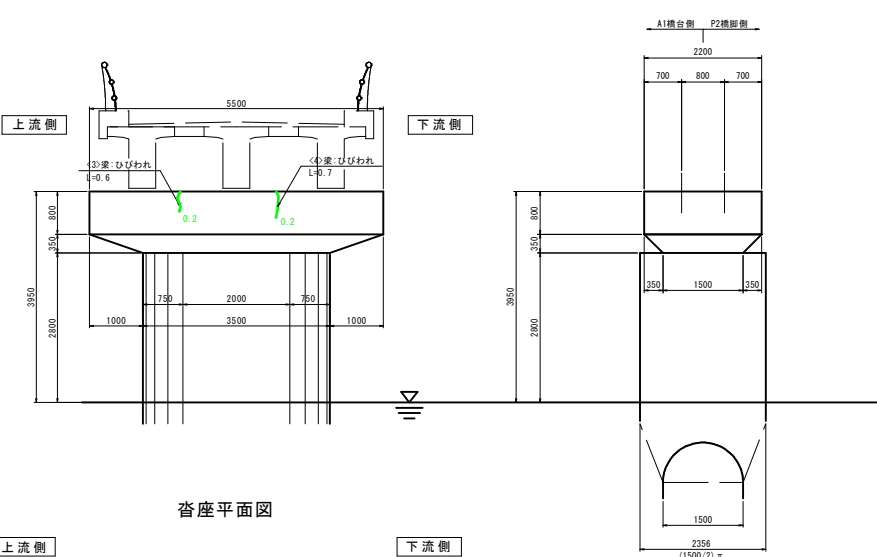
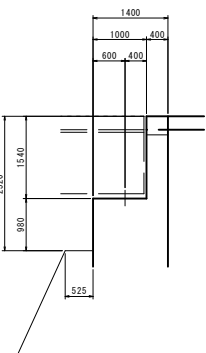
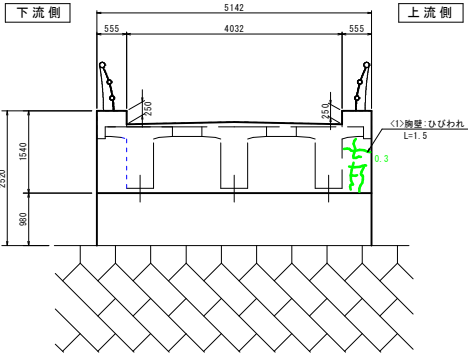
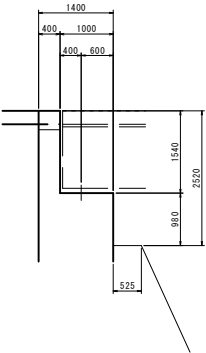
側面図
(下流側)

正面図

側面図
(上流側)

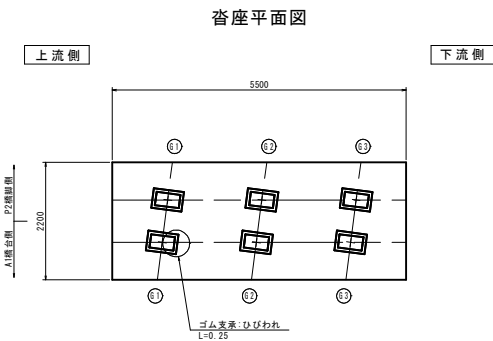
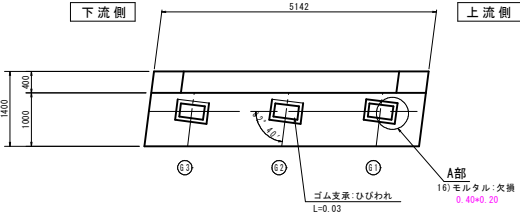
正面図

側面展開図



沓座平面図

注) () 内は橋軸基準の数値を示す。

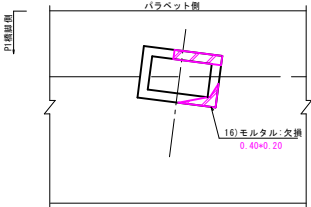


※ 支保ひびわれはオゾンラックであり経年に伴う影響であり全ゴム支保にて保護対策を講じる。

A部詳細図

S=1:20

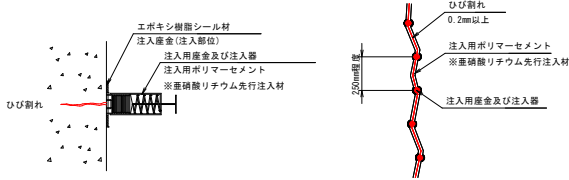
下流側 上流側



損傷凡例			
ひびわれ(0.2mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	0.1	漏水・漏土	
ひびわれ(0.2～1.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	0.2	浮き・剥離	
ひびわれ(1.0～2.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	1.0	剥離・取崩露出	
ひびわれ(2.0～5.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	2.0	変形・欠損	
ひびわれ(5.0mm以上) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	5.0	変色・劣化	
ひびわれ(遊離石灰) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。		腐食	
遊離石灰 図中の数値は幅×長さ(mm)を示す。	0.10×0.10	防食機能の劣化	
錆汁漏じり遊離石灰 図中の数値は幅×長さ(mm)を示す。	0.10×0.10	豆板	

図面番号	4 / 5	縮尺	図示
工種	馬摺橋 補修図(その4)		
種別	馬摺橋 補修図(その4)	番号	
路線名	河川		
工事箇所	三 次 市		

ひび割れ注入工詳細図



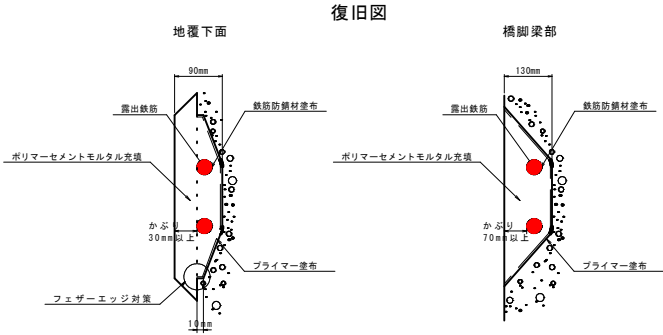
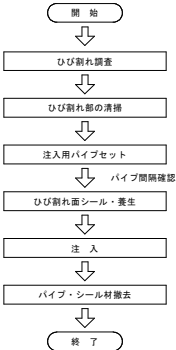
- 注記)
1. シール範囲は施工前に下地処理を行うこと。
 2. 下地処理後はエアークリーンなどで付着した粉塵等を十分除去すること。

工 種	仕 様
ひびわれ注入工	注入用ポリマーセメント

※ドライアウト防止のための先行注入材には重碳酸リチウムを適用する。

馬摺橋 補修図(その4)

施工フロー

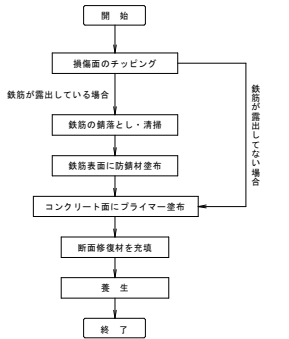


注) 橋脚梁部においては、かぶり厚70mm以上(はつり調査時に79mm)を確保し右図のように構造面に合わせ対置すること。
地覆下面においては、かぶり不足で鉄筋露出は表面的であるため左図のように余置しかぶり厚30mm以上を確保すること。

注) 下記に想定補修断面を算出する。
また、はつり時において鉄筋腐食が著しく損傷している場合には、同径以上の鉄筋で更新すること。

※1) (橋脚梁部) 130mm≒79mm(調査かぶり厚) + 19mm≒16mm(鉄筋径) + 16mm程度(背面余裕)
※2) (地覆下面) 60mm≒30mm(かぶり) + 13mm(鉄筋径) + 13mm程度(背面余裕)

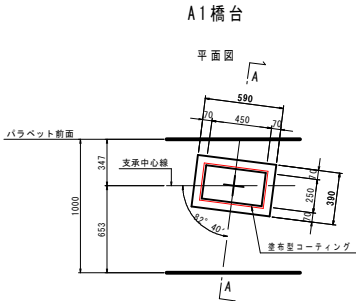
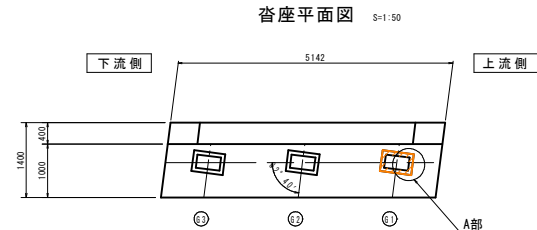
施工フロー



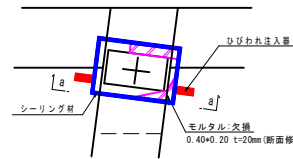
工 種	仕 様
プライマー	新田打組用エポキシ系接着剤相当
鉄筋防錆材	エポキシ樹脂系錆阻剤と防錆剤相当 (NEXCO 鉄筋防錆剤品質規格適合)
断面修復工	ポリマーセメントモルタル材 (NEXCO 断面修復材品質規格適合)

支承オゾン劣化塗布型コーティング対策
(ゴム支承 □250 × 450 t=変化)

支承モルタル欠損対策

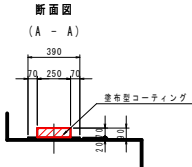
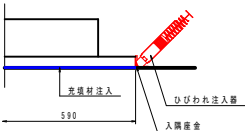


A部詳細図
S=1:20
下流側 上流側



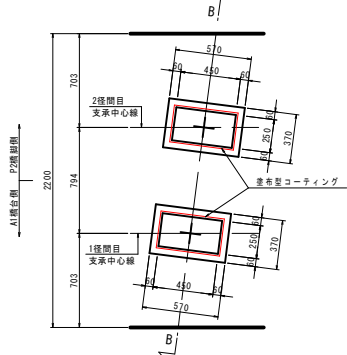
注) ひびわれ延長
1960mm=590mm × 2 + 390mm × 2
充填材料
0.00023m³=0.590m × 0.390m × 0.001m

断面図 S=1:5
a - a

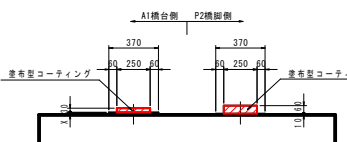


P1橋脚

平面図

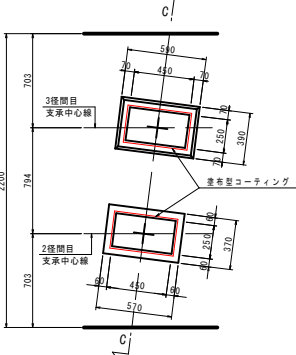


断面図 (B - B)

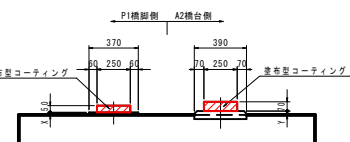


P2橋脚

平面図

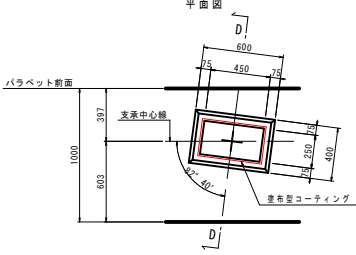


断面図 (C - C)

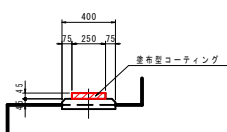


A2橋台

平面図



断面図 (D - D)

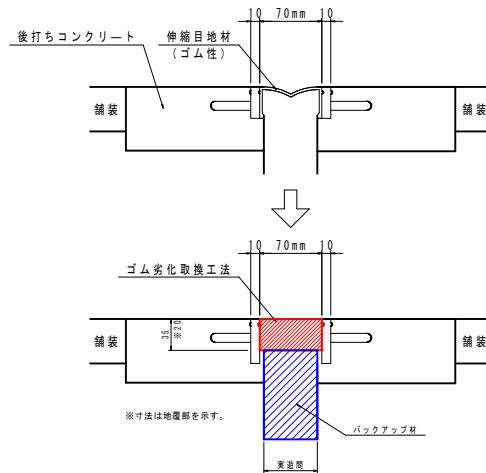


図面番号	5 / 5	縮尺	図示
工種			
種別	馬掘橋 補修図(その5)	番号	/
路線 河川	名		
工事箇所			
三 次 市			

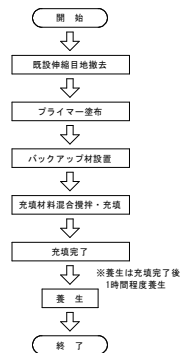
馬搦橋 補修図(その5)

伸縮裝置更新工

ゴム劣化取換工法

 $S=1/3$ 

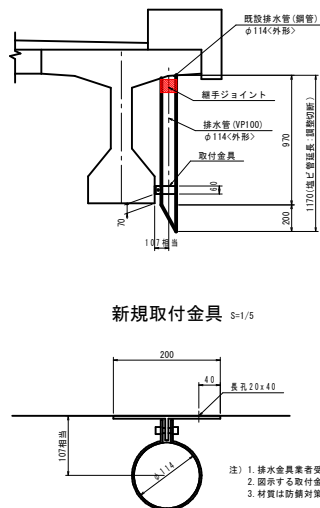
施工フロー



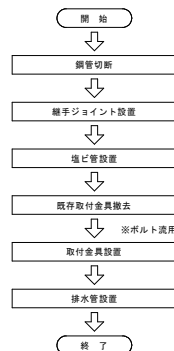
排水管取換更新工

正面図 S=1/20

S=1/20



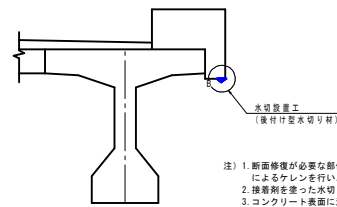
施工フロー



水切り設置工

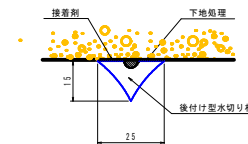
正面図 S=1/20

S=1/20



B部詳細図 S=1/1

S=1/1

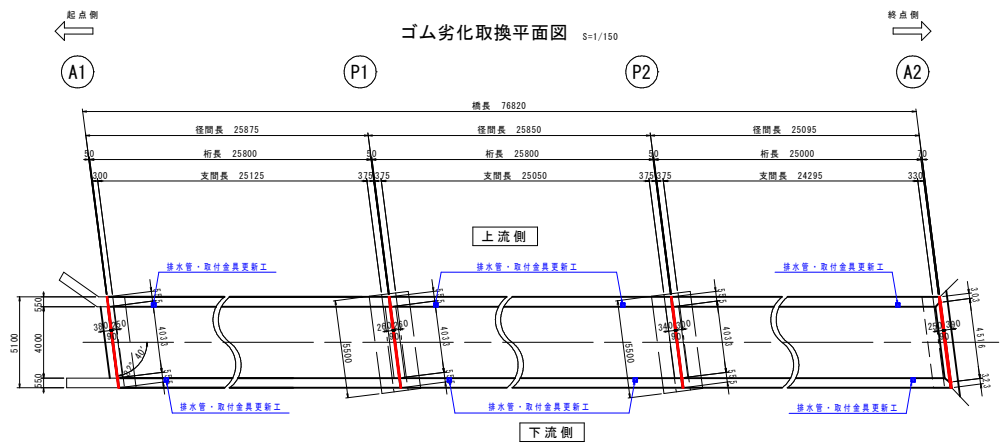


水切設置工数量表

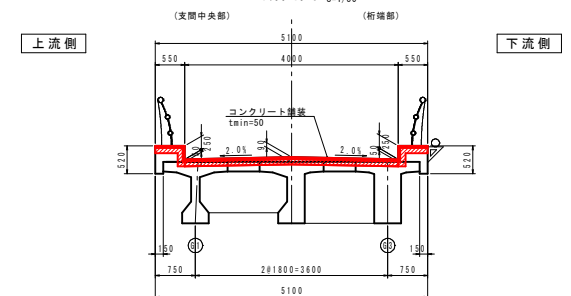
	上流側	下流側	計
水切工	76.600m	76.600m	153.2m

ゴム劣化取換平面図

S=1/150



断面図

面図 $S=1/50$ 

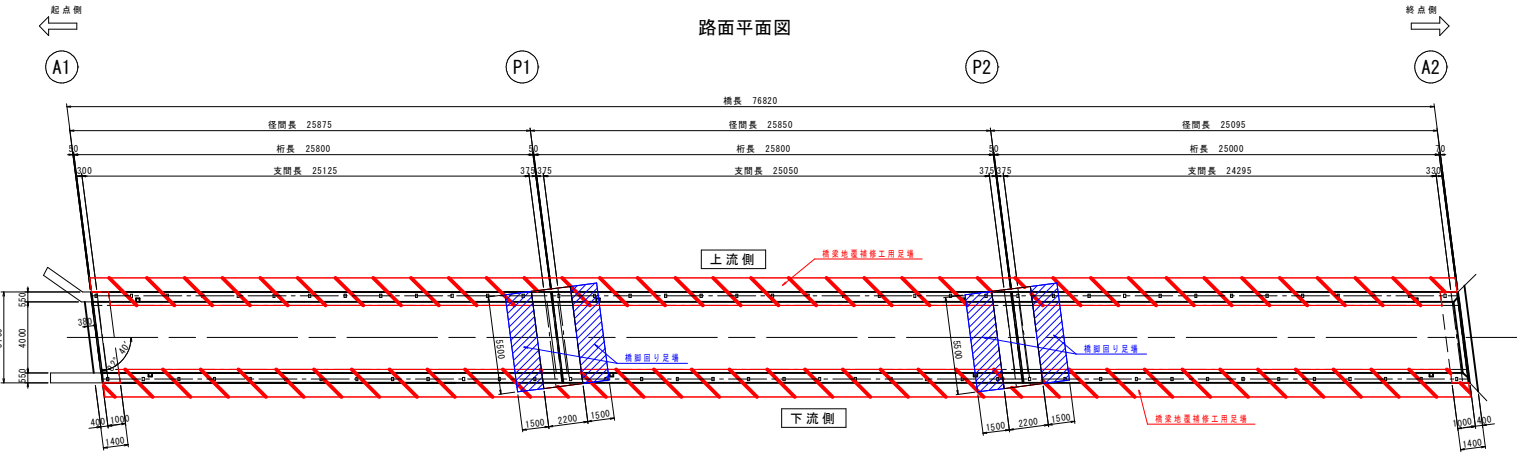
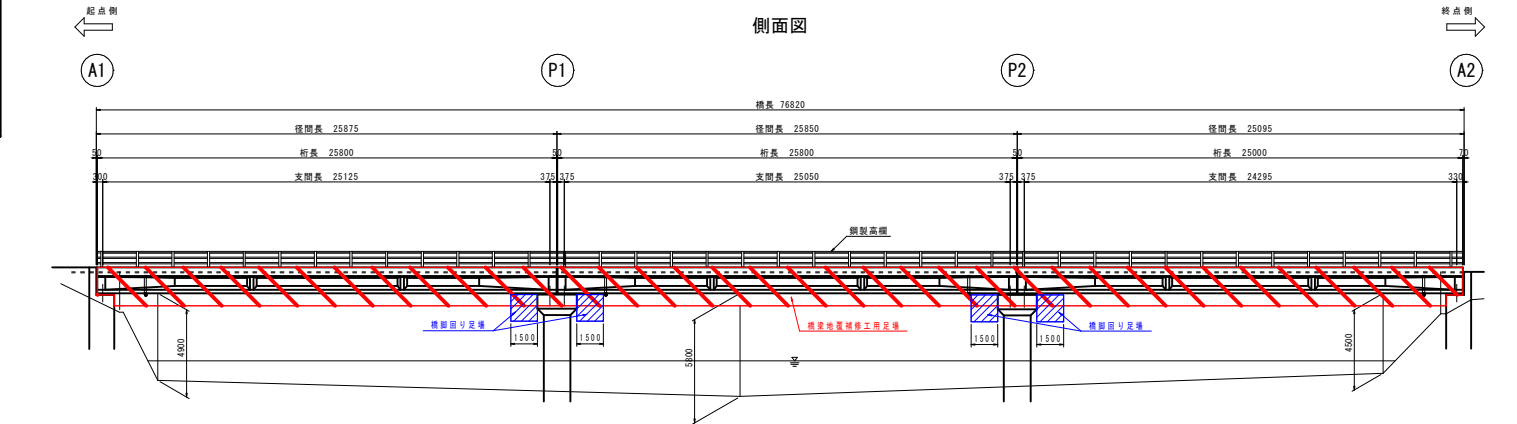
注記)

1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
3. 修繕工事担当、寸法等は一度現地視察を行って確認すること。
4. はつり後、鉄筋露出がある場合は、ワイヤーブラシ等で鋼を露し汚屑を除去する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋布材まで露出したコンクリートの充填を行うこと。
5. はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
6. ひびわれ入材は湿潤状態となるため亜硝酸リチウム(40%)水溶液を先行注入すること。また、遊離石灰にひびわれが充てられている場合は、グラインダー等で表面上の遊離石灰を除去すること。
7. 防錆材は塗布し終わる場合に入念に塗ること。
8. はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリートと修復材との間に隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
9. コンクリートのはつり作業時において修繕材及びはつり段等の落下を防ぐよう防護すること。
10. その他有形ないし損傷および修繕作業を施すことが困難な場合は発注者と協議し対策を講ずること。

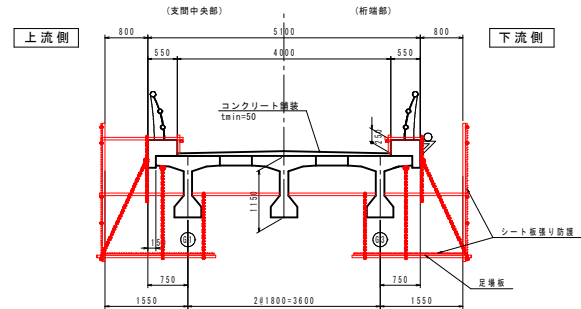
注) 1. 排水金具業者受注前は再度採寸し受注すること。
2. 図示する取付金具は参考であり、銅材厚等は業者にて開設し耐荷性に対応する形状とすること。
3. 材質は防錆対策を講じた材料および塗装を選定すること。

図面番号	1 / 1	縮尺	図示
工 種			
種 別	(馬摺橋)仮設計画面図(参考図)	番号	/
路線 河川	名		
工事箇所			
三 次 市			

(馬摺橋)仮設計画面図 (参考図) S=1/150



上部工断面図 S=1/50



橋梁地覆補修工用足場:タイプE				橋梁架設工事の積算	
位置	式	単位	数量	備考	
A1-A2径間 地覆側面	76.700 x 1.550 x 2カ所	m2	237.8	シート張防護工 + 板張防護工	

橋脚回り足場:タイプF				橋梁架設工事の積算	
位置	式	単位	数量	備考	
P1・P2橋脚回り	5.500 x 1.500 x 4カ所	m2	33.0	シート張防護工 + 板張防護工	

(注記)
1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検閲を行って確認すること。
3. 落水期に施工を施し、施工時には水位等を考慮し足場工法を再検討すること。
また、アンカー打込みに関しては、既設鋼材との干渉を避け、最小限となるよう
配慮・検討を講じること。